

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第30回)

概要報告

1. 日時 2025年3月10日(月) 13:30~16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	長岡技術科学大学	教授	大塚 悟
	東北大学	教授	岡田 知己
	東京大学地震研究所	教授	小原 一成
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	東京大学	教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	防災科学技術研究所	主任研究員	武田 哲也
	東京大学	名誉教授	平田 直
	産業技術総合研究所	グループ長	丸山 正
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議題

- (1) 2024年度の活動報告等
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討ーレイリー波の分散性を利用した浅部S波速度構造の推定ー
- (3) 深層学習とデータ駆動型地震・雑音分類法に基づく多点観測波形データからの地震波検測手法ー長岡観測網データによる検証ー

4. 委員会の状況

2024年度の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、観測記録を用いた地震波速度構造の検討、深層学習を用いた地震波検出の検討に関する最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 2024年度の活動報告等

2024年度の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、長岡平野周辺の震源分布について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、長岡平野周辺の地殻変動状況について説明が行われ、委員会では、能登半島地震に伴う地殻変動について意見交換が行われた。

(2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討ーレイリー波の分散性を利用した浅部S波速度構造の推定ー

長岡平野周辺を対象とした連続観測記録の地震波干渉法解析に基づくレイリー波群速度トモグラフィの結果を用いて浅部のS波速度構造を推定する検討が紹介された。委員会では、長岡平野周辺で観測された令和6年能登半島地震の記録との比較について意見交換が行われた。

(3) 深層学習とデータ駆動型地震・雑音分類法に基づく多点観測波形データからの地震波検出手法ー長岡観測網データによる検証ー

長岡平野西縁断層帯周辺の観測記録を対象として、深層学習と統計学的手法を組み合わせた複数観測点に対する地震波検出法について紹介された。委員会では、データ駆動による検出過程の設定および地震波の検出精度について意見交換が行われた。

以 上